

公共施設・庁舎跡利用についての地区意見交換会

【具志川地区】

日時	平成25年6月29日（土） 午後2時00分～午後5時00分
場所	健康福祉センター「うるみん」 3階 大ホール
参加者	計 19名

会議の様子：



【第1部】 公共施設等のあり方について

意見概要

〈社会福祉施設について〉

- 高齢者と子どもが交流できるような環境が望ましい。
- 耳の不自由な人への要約筆記や手話にも力を入れ、活用していくことも大事だと思う。

〈文化施設について〉

- 公民館で住民票が取れることが望ましい。
- 県立劇場が誘致できるとよい。

〈施設利用について〉

- 市民が施設を借りやすい環境とすることが望ましい。
- ケアカウンセリングを徹底するべきである。
- 自ら行きたくなるような心から満足できるような場所づくりが必要だと思う。

〈観光振興について〉

- 6次産業による観光振興も考慮した施設の活用を考える必要がある。

【第2部】 庁舎等跡利用について

意見概要

〈跡利用の考え方〉

- 障がい者が自由に利用できる場所が必要だと思う。
- 一つの施設のことだけを考えるのではなく、石川、与那城、勝連庁舎を総合的に考え、例えば、高齢者でも作業が可能な水耕栽培の施設をつくることも考えられる。
- 観光客をどのようにしてうるま市に呼ぶのかということも踏まえた上で、跡利用の問題を考えることが望ましい。
- うるま市に人を集めるのであれば、中心である具志川地区に人が集まるような施設をつくるべきだと思う。
- 子どもたちを保護するような施設や、DV等から守るための女性の駆け込み寺のような場所をうるま市につくることが望ましい。
- 空く可能性のある施設に関して、起業をしたい若者にうるま市がバックアップするかたちで安い家賃で2、3年を目途に貸すことも考えられる。
- 第三者機関による検討も必要である。

《石川庁舎の跡利用》

- 高齢者、保育園児、児童が集まれる施設をつくり、さらに病院を入れることにより、すぐに対応できるような環境をつくるのが望ましい。
- 保育施設の中に病児保育等の施設をつくれば、親も働きやすくなると思う。
- 交通が便利であり、自然に触れることもできるので、素晴らしいサービスができればよいと思う。
- 市民芸術劇場のようなイベントとして活用できる施設も考えられる。
- 高速道路のインターチェンジから近いので、野球やサッカーの球団がキャンプできるような施設が考えられる。なお、できるだけ市の予算の負担にならない方向で考えた方が望ましい。
- 全国の学校から、宮森 630 について見学したいとの声があることから、石川庁舎を宮森 630 について勉強できる場として活用することも考えられる。

《与那城庁舎の跡利用》

- 商業施設やみんなが集まりやすい環境をつくりながら、駐車場や夕日が見えるという立地を活かしてホテルとすることが望ましい。
- 高齢者と農業体験をメインとしながら民泊を行う環境をつくり、庁舎跡に宿泊施設を設けて高齢者が若い子たちと携わることによって元気になるような活用が望ましい。
- ホテルとして利用する場合は、企業と協力して取り組むべきである。
- 海岸を利用してシーサイドホテルのような施設をつくれば、観光客は集まると思う。
- 与那城庁舎をホテルにするというのは、もう少し検討が必要だと思う。
- 海が近いことから、リゾート関係のホテル事業者と連携して取り組むことが望ましい。

《勝連庁舎の跡利用》

- 現状維持とするか、新しい事業があれば活用してもよいと思う。
- シビックホール等の使い方も併せて検討することが望ましい。

《学校の跡利用》

- 会合がもてる施設としての利用が考えられる。
- 統廃合された学校の跡地を競輪選手が通う学校としての利用が考えられる。